

## 仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの成果と今後の観光事業の展開について

制野敬一

〔質問〕(1) 宮城県全県をあげての仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの成

果をどのように捉えられていいか伺いたい。

(2) 今後の展開について

- ① 未整備の名所史跡の整備計画はあるのか。
- ② 隣接市町と連携を図りな

がらお互いの特色を生かした  
来年以降の方策、方針がある  
のか伺いたい。

## 地域医療確立の具体的手順について

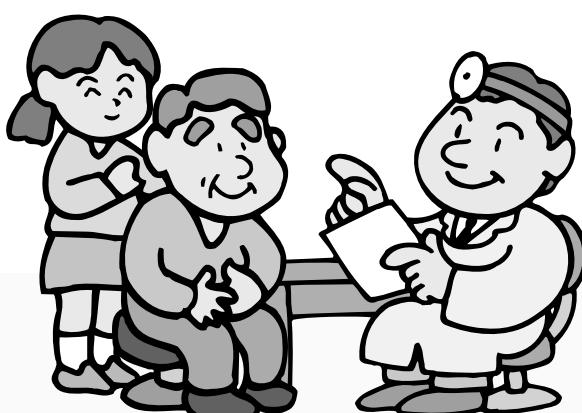
沼倉啓介

〔質問〕市長の2期目の市政

また、それらの具体的手段としてどの様な対応策があると思われるか具体的手順についてお示しを頂きたい。

ついて1市2町組合の構成市の首長として現時点でのそれらの姿をどのように把握されているか。

〔答弁〕【市長】現在、共通認識を図るための正副管理者、また院長、看護部長の定期的な集まりを1カ月に1回程度行っており、今後も継続し、市民の命を守る砦を強力に支援することは、必要であると痛感をしている。



議員各位におかれても、地域医療を守る議員の会が結成されている。よきアドバイスをいただき、ともにこの刈田病院を守るために、ご支援いただくことをお願いしたい。

〔答弁〕【市長】(1)この仙台・宮城デスティネーションキャンペーングラフを上回ったとの発表があった。全国的な戦国武将ブーム、またJRのCMの効果によって本市への観光客は着実に伸びている。これもJRをはじめとする関係機関と連携を図りながら白石の魅力を広く紹介するなどPRに努めた結果であり、関係の皆様方に深く感謝を申し上げる次第である。

(2)①昭和55年から57年度の3カ年で史跡のまち整備事業を実施して、市内の史跡を18のルートに分けて観光客が周遊できるよう案内板、説明板、標柱など延べ213基を設置したほか、史跡のまちガイドブックを作成している。

その後も随時整備を進めているが、未整備の史跡等もあるが、未整備の史跡等もあ

C白石市推進協議会を立ち上げて、官民一体となつた取り組みを展開してきた結果だと思っている。

②去る11月3日にいきいきプラザを会場に開催された「みちのくおとぎ民話フェスタ」などはまさに広域連携の成果であり、白石市、七ヶ宿町、山形県南陽市、高畠町で構成する国道113号観光推進協議会をはじめとした各種協議会での緊密な連携を図りながら、今後も広域的な事業を推進してまいりたい。